

既存施設を利用した福祉拠点施設整備事業

取組に至る背景・事業の目的

おとわの会は、点字サークル活動を行う傍ら、障がい者の要望を受け日常的な情報の音声訳に取り組んでいたが、防音設備のない公共施設を借り録音していたため、生活音が紛れるなど活動に支障がある状況が続いていた。

このため、現在利用されていない公共施設の一角に防音シートを設置する等の作業により音声訳環境を整え、地域のボランティア拠点として活用するほか、音声訳ボランティアの養成を行う。

事業内容

○福祉拠点施設整備

町内の利用されていない公共施設の一角を活用し、防音室を整備。施工業者の協力を得て、防音シート張りや棚、机づくり等を会員自らが行った。

○音声訳講習会の開催

講師を招き音声訳講習会を10回開催し、音声訳技術の向上を図るとともに、新たな音声訳ボランティアを養成した。



【音声訳の録音風景】

事業効果

録音の障害となっていた生活音などの雑音がなくなったこと、録り直し等の時間的ロスが減ったことで、これまで音声訳してきた坂城町の広報の他にも新たな録音が行えるようになり、提供できる情報の質と量の向上が図られた。

定期的に行った音声訳講習会により、音声訳ボランティアが2人増加し、活動の幅が広がった。



工夫・苦労した点、課題、今後の取組など

音声訳講習会の定期的な開催により自らの活動をPRし、ボランティア及び音声訳情報サービス利用者の増加に努めるとともに、より多くの情報発信を行っていく。

音声訳ボランティアのみならず、福祉ボランティアの拠点として町の福祉活動の活性化にもつなげていく。

【選定のポイント】

住民協働による防音室の整備により、音声訳できる情報の質と量の向上が図られたほか、音声訳講習会の開催等により新たな音声訳ボランティアが育っている。

団体名	おとわの会（坂城町）	事業タイプ	ソフト・ハード
連絡先	0268-82-3563	事業費	1,805,410円
		支援金額	1,316,000円